

◎教育指導の経費

情報教育事業

【 教育指導課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

学校教育:子どもたちの豊かな人間性や生きる力をはぐくめる教育が実現しているまち

【事業の目的】

対象 市立小・中学校の児童生徒等

意図 小・中学校教育用コンピュータ整備及びインターネット接続により、情報教育の推進・充実を図るため。

効果 情報教育の推進・充実を図る。

【事業の内容】

(1) 情報教育事業

- ・市立小学校の教育用コンピュータを設置運用した。
- ・市立中学校のPC教室に教育用コンピュータを設置運用した。
- ・市立小・中学校に設置されたすべてのコンピュータにインターネット接続を行い、児童生徒の情報活用能力を育成した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
63,146	60,918	60,717		201
主な支出内訳				
・情報教育事業 小・中学校教育用コンピュータ等賃借料				60,368

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 <b>教総-24 情報教育事業</b> <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	1005 情報教育の推進・充実					
主管課	教育指導課		関連課				
分野名	学校教育						
目標 (目標値)	情報社会に対応した情報教育の推進・充実を図る						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯	・各年5月1日学校基本調査		
	児童生徒数	10,744人	10,386人	10,191人			
運営資源 状 況	決算値	60,717千円	60,465千円	66,546千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	60,717千円	60,465千円	66,546千円			
	人員配置数	1.7人	1.7人	1.5人			
	人 件 費	16,679千円	16,883千円	15,557千円			
	協 働 の パ ー ト ナ ー	各学校・中体連・中文連・研究会部会他	各学校・中体連・中文連・研究会部会他	各学校・中体連・中文連・研究会部会他			
事務事業 運営経費	総事業費	77,396千円	77,348千円	82,103千円			
	市民1人当 りの経費	439円	440千円	469千円			
	対象者1人 当りの経費	7,204円	7,447千円	8,056千円			
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(23年度)
校内IT研修の充実	◎	目標値	16校	25校	25校	25校	25校
		実績値	5校	25校			
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している							
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育用コンピュータの台数及び教育支援ソフトの不足。</li> <li>・情報セキュリティ・情報モラルの資料、教材不足</li> <li>・情報教育、情報活用教育を指導する教員の指導力不足。</li> </ul>
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校に情報モラルの指導用ソフトウェアを導入。</li> <li>・情報漏洩等の事故防止のためのマニュアルを利用し、事故防止の周知に努めた。</li> <li>・教育委員会主催で教職員向けの情報教育・情報活用教育のための研修の実施。</li> <li>・NPOと連携し、教職員向けの情報教育・情報活用教育のための研修の実施。</li> </ul>
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育用コンピュータの台数増加及び教育支援ソフトの充実。</li> <li>・情報セキュリティ・情報モラルについてのカリキュラム、教材の充実。</li> <li>・情報教育アドバイザー的な人材の派遣。</li> </ul>
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年度には小学校教育用のコンピュータの更新を予定しているため、情報教育・情報活用教育の充実を目指した整備計画を立てる。</li> <li>・情報セキュリティ、情報モラルについてのカリキュラム等の整備・研修を行う。</li> <li>・教職員向けの研修を充実させる。</li> </ul>

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	ICT機器・技術の急速な進歩に対応すべく、情報教育の推進・情報機器の整備に努める。		
担当課長氏名:	教育指導課長 八神 陽介		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	情報化社会に対応した、特色ある鎌倉の教育を推進するために、今後も学校教育の充実と円滑な学校教育運営に努めたい。		
担当部名	教育総務部長	部長名	宮田 茂昭